



CHRISTOPHE CLARET

アベンティクム

ローマ皇帝、マルクス・アウレリウスへのオマージュ

クリストフ・クラレの歴史への情熱が、古代ローマ、ヘルヴェティアの州都へのオマージュ、アベンティクムを作り出し、Avenches Roman Museum(アヴァンシュ ローマン ミュージアム)の優れた業績に光を当てました。アベンティクムの文字盤の中央には、ローマ皇帝、マルクス・アウレリウスのゴールドの胸像が細工されています。微細にエングレービングされた彫像は、工夫された光学的効果により、3 次元的にその姿を際立たせます。

クリストフ・クラレは現在、その遺跡がスイスのアヴァンシュ近郊にある、300 年以上、古代ローマ、ヘルヴェティアの州都であったアベンティクムの歴史に興味を寄せていました。今でもアベンティクムの発掘現場では、考古学者が豊かな古えの時代に遡る貴重な遺物の採掘を続けています。2013 年、クリストフ・クラレは、フィリップ・ニコレ率いる制作会社、NVP3D とパートナーシップを結び、Avenches Roman Museum とアヴァンシュの街に帰属する古代ローマの素晴らしい遺物を記録するため、3D 映像を作成することにしました。それらの遺物の映像に 3D 技法を使用したアドバンテージは、大画面で遺憾なく発揮されています。3D で古代の遺物を映写することにより、きわめて小さい物でも、そのディテールが手に取るようにわかり、観客や研究者はアベンティクムの豊かな歴史を目の当たりにすることができます。発掘された物の中でも特筆すべきは、1939 年に古い配管を清掃していた際、発見された皇帝、マルクス・アウレリウスの胸像です。この貴重な発掘物は、世界に 3 体しかない同じ様式のローマ時代の胸像のひとつです。これ以外の同様の像は、何世紀もの間にほとんどが融かされ、他の物品に姿を変えてしまっています。ミュージアムの展示スペースは限られているため、古代ローマの州都の発掘物は、その多くが十全に見学者に披露できていません。クリストフ・クラレは、アベンティクムにインスパイアされた自社のタイムピースが、古代文明の遺物を保存するという Avenches Roman Museum の並はずれた努力への認知度を上げる一助になれば、と考えています。また、そうした貴重な遺産を保存し、展示できる新しい施設を建造することについてのスイス政府のサポートを期待しています。

3D 映像で描写された古代ローマの州都の街の歴史が、アベンティクム ウォッチを生み出す着想の源となりました。文字盤の中央には、微細にエングレービングされたマルクス・アウレリウスのゴールドの胸像を見ることができます。時計製造の世界ではかつてなかった技法を用い、3 mm に満たないスモールスケールで忠実に再現された皇帝の胸像は、ミラスコープと呼ばれる巧緻な発明により、拡大されたフォルムでその存在を示しています。

ミラスコープは、ひとつが他方の上部に重なり、楕円形状を形作る 2 つの放物線状の鏡で構成されています。湾曲した上部の鏡の中央には穴が開いています。対象物を下部の鏡の中央に置くと、上部の鏡の反射が対象物のホログラムを現出させ、対象物は実際よりもほぼ 2 倍大きく見えることとなります。アベンティクムのこの光学的効果により、マルクス・アウレリウスの胸像は、まるで時計の中央から飛び出てきそうに見えます。その幻影があ

まりにもリアルなため、サファイアガラス越しにゴールドの彫像に触れたい衝動に駆られますが、勿論、それはできません。

クリストフ・クラレのすべてのタイムピースと同様にアベンティカムも、ブランドにより具現化された高級時計における最上級の基準を満たしています。技術的には、完璧に機能するミラスコープを開発することが何よりの課題でした。まず、望ましい光学的効果を得るために、数ヶ月の研究と複数のプロトタイプ制作が行われました。次のステップでは時針／分針の設計と製造。それらはミラスコープが文字盤の中央にあるため、再構成する必要がありました。結果、針は文字盤外周の、言うなれば不可視のリングを指して回転するようにしました。それぞれの針は、安定性を最適化するため、カウンターウエイトを備えています。アベンティカムの針を制作するにあたって困難であったのは、ほとんど隠されるといえど、表示メカニズムに対して大き目なサイズを補正するための軽量の素材を見つけることでした。それはきわめて剛性／重量比率の高い(つまり軽くても丈夫な)Anticorodal アルミニウム合金を採用することで解決されました。

アベンティカムを裏返すと、ケースバックから自動巻きムーブメントの透明なサファイア製巻き上げローターを見ることができます。ローターは、揺れながら争うかのごとき 5 つの馬車で装飾されています。そうです、多くのクリストフ・クラレのタイムピースに見られる遊び心は、ここでも見られ、今回は楽しいインタラクティブなレースという形をとっています。アベンティカムを水平にして 1、2 回振ると、馬車がローターの動きで走り出し、やがて止まります。文字盤外周部に刻印されたアウレリウスの「A」の上で馬車を止めたプレイヤーが勝者です。アベンティカムは、ローマの遺産、その偉大なる文明の芸術的影響を時計の上で多くの考え抜かれた装飾として表現しています。時刻を表すローマ数字、文字盤とケースバック、さらに巻き上げローターに見られる迷路のモチーフなどです。マルクス・アウレリウスが皇帝であっただけではなく、哲学者でもあったことに着目し、クリストフ・クラレは、彼の有名な格言のひとつをラテン語でケースバックに刻印することにしました。“Perfice Omnia facta vitae quasi haec postrema essent” すなわち「ひとつひとつの行動を一生の最後の事のように行う」。クリストフ・クラレは、アウターサファイアローターとその内側軸受の関連性、に関する**ヴィアネイ・ハルター**の特許のライセンスを取得しました。

アベンティカムは 2 種類の限定シリーズで販売されます。レッドゴールド／**アントラサイト** PVD コーティング、グレード 5 チタン モデルが 68 個。パラジウム-リッチ ホワイトゴールド／**アントラサイト** PVD コーティング、グレード 5 チタン モデルが 38 個です。

アベンティクムの技術仕様

ムーブメント:

キャリバー:	AVE15、自動巻き
サイズ:	- 直径: 26.20 mm - 厚さ: 3.37 mm (針無し)
部品数:	186
石数:	28
バレル:	ツイン バレル
パワーリザーブ:	72 時間
脱進機:	- 振動数: 4 Hz (28,800 振動/時) - スイスレバー
特徴:	透明なサファイア製の「ミステリー」巻き上げローターは、高精細度メタル加工の 5 つの馬車で装飾されています。
機能:	時、分の表示

ケース:

サイズ: 44 X 52.11 X 18.49 mm
防水性: 3 ATM / 30 m / 100 ft

材質

ホワイトゴールド
グレイ **アントラサイト** PVD コーティングの
グレード 5 チタン
Anticorodal アルミニウム合金針

リューズ

ホワイトゴールド
グレイ **アントラサイト** PVD コーティングの
グレード 5 チタン
ブラック PVD チタン カボション

ストラップ

ブラックアリゲーターレザー、ブラックステッチ

特徴:

マルクス・アウレリウスの小さな胸像が刻まれたイリュージョン・スコープ

38 個限定エディション

価格(スイスフラン、税込み): 53' 000



ケース:

サイズ: 44 X 52.11 X 18.49 mm

防水性: 3 ATM / 30 m / 100 ft

材質

レッドゴールド

グレイ **アントラサイト** PVD コーティングの
グレード 5 チタン

Anticorodal アルミニウム合金針

リュース

レッドゴールド

グレイ **アントラサイト** PVD コーティングの
グレード 5 チタン

ブラック PVD チタン カボション

ストラップ

ブラックアリゲーターレザー、ブラックステッチ

特徴:

マルクス・アウレリウスの小さな胸像が刻まれたイリュージョン・スコープ

68 個限定エディション

価格(スイスフラン、税込み): 49' 000

